

ローラーコースター脱線事故

千葉県側に立地していても東京の冠を頂いている世界有数の遊興施設
宇宙空間に見立てた暗黒の空間で失踪するローラーコースターが営業中に脱線事故を起こしました。
怪我人が出なかったのが救いですが原因究明まで数週間の運用中止

後日判明した原因は・・・

当初、オリジナルである超大国の図面に基づいて設計施工されていましたが
日本はメートル法採用の国で消耗部品などは調達しやすいミリ規格に後年変更されていました。
担当者が変わったためかコースターの車軸を手配する際に従来のインチ規格部品で発注したため
嵌め合いが適切でなくストレスが溜まり車軸が切断されたものでした。
ベアリングに対して車軸が太い場合なら組みつけが出来ないのでミスに気が付きますが
運悪く細めだったので交換作業者も気付かなかったのでしょう。

製造や設計に関っている方なら判ると思いますが細かな設計変更で判り難くなっていることが
よくあります。また当該の生産ロットがどの仕様になっているかも管理がシッカリされていないと
判らないものです。

旧タイプBMWも似たようなケースがありました。

長い間、R69Sなどツインモデルに純正のスロットルケーブルを購入してもインナーケーブルが
アジャストナット一個分短いためそのまま装着すると吹け上がってしまいます。
仕方がないのでアウターを数ミリカットしてセットすることになってしまいます。
原因は当初採用されていたスライドピストン径 27の旧型キャブレターのデータが
残っているため初期型キャブ用のケーブルが最後まで出回っていたものようです。



設計変更とフォローアップ